



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小糸製作所

コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大嶽 昌宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 山本 英男

TEL 03-3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	298,714	△6.7	17,751	△37.3	17,103	△33.0	7,555	16.6
23年3月期第3四半期	320,219	12.8	28,312	66.3	25,517	41.8	6,482	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,832百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △6,132百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	47.02	—
23年3月期第3四半期	40.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	329,443	166,365	44.4	909.74
23年3月期	338,760	168,414	43.3	912.55

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 146,195百万円 23年3月期 146,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	428,000	△0.2	32,000	△14.5	30,500	△11.1	14,500	44.8	90.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	160,789,436 株	23年3月期	160,789,436 株
24年3月期3Q	89,445 株	23年3月期	89,084 株
24年3月期3Q	160,700,280 株	23年3月期3Q	160,702,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 2. 平成24年3月期の期末配当予想額は未定であります。配当予想額は、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	0.6	16,000	1.0	23,000	4.1	8,000	57.6	49 78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年10月27日に公表しております個別業績予想は、通期について修正しております。
2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、東日本大震災や原発事故に伴う電力不足等により、経済活動が著しく停滞、加えて夏場以降の円高進行による輸出産業の採算悪化等もあり低調に推移いたしました。海外においては、中国・インド等の新興国での経済成長は見られるものの、タイ洪水の影響や、欧州諸国の財政問題等があり、世界の経済成長は鈍化いたしました。

自動車産業におきましては、国内では期後半にかけ挽回生産など回復傾向にありますが、震災の影響が大きく生産台数は前年同期に比べ減少いたしました。海外では、タイが大幅減産となるなか、北米、中東欧、及びインド等新興国での堅調な生産拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が震災、及び洪水の影響に伴い減収となり、前年同期比6.7%減の2,987億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日 本〕

期前半において自動車生産が震災影響に伴い大幅な減産となったことに加え、タイ洪水の波及影響もあり、売上高は前年同期比10.0%減の1,742億円となりました。

〔北 米〕

震災等の影響に伴う日本車の生産減少に加え、円高による為替換算の影響もあり、売上高は前年同期比18.0%減の276億円となりました。

〔中 国〕

日本車の生産が伸び悩むなか、現地自動車メーカー向けの受注活動強化や拡販に努めるとともに、鉄道車両用電装品の受注が増加したことから、売上高は前年同期比3.5%増の636億円となりました。

〔アジア〕

震災や洪水の影響により日本車の生産が減少したものの、インドネシアでの生産が順調に推移し、売上高は前年同期比1.7%増の226億円となりました。

〔欧 州〕

現地自動車メーカー向けを主体に自動車照明器の拡販活動を展開いたしました結果、売上高は前年同期比15.3%増の105億円となりました。

利益につきましては、グループ各社とともに品質改善、設備投資抑制、原価低減諸施策を強力に推進するなど合理化に努めましたものの、国内外における日本車の減産に伴い大幅減収となったことから、営業利益は前年同期比37.3%減の177億円、経常利益は前年同期比33.0%減の171億円となりました。四半期純利益は特別損失の減少により前年同期比16.6%増の75億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少により流動資産が減少したのに加え、設備投資抑制による有形固定資産の減、投資有価証券の減等もあり、資産残高は前期末に比べ93億円減少の3,294億円となりました。

負債の残高は、借入金や未払法人税等の減少などにより、前期末に比べ72億円減少の1,630億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益により利益剰余金が増加する一方、その他有価証券評価差額金等その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末に比べ20億円減少の1,663億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益149億円、減価償却費146億円を主体に290億円となり、法人税等を支払った結果、186億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資160億円等を実施した結果、134億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済18億円を実施するなか、配当金44億円を支払った結果、63億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ18億円減少の210億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

経済情勢は、国内では、歴史的且つ急激な円高や株安、電力供給問題や雇用情勢不安等から実体経済は極めて脆弱であります。加えて米国景気の回復遅れ、欧州諸国の信用不安等もあり、経営環境は依然として厳しく不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、環境変化に即応できる事業体制の構築、及び原価低減諸施策の強力な展開を図り、今後とも業績改善に取り組んで参る所存であります。

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、第4四半期における日本車の挽回生産を見込んでおりますが、震災、及びタイ洪水災害の影響等により前期比横ばいの予想であります。

利益につきましては、引き続き生産性向上、経費削減、設備投資抑制など費用削減活動を強力に推進するものの、震災・洪水影響に加え、海外新工場稼動に伴う固定費負担増などから、営業利益、及び経常利益は前期比減益、当期純利益は、特別損失の減少により前期比増益の見通しであります。

株主配当金につきましては、第2四半期末は、前期末と同額の1株当たり9円といたしました。当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点、未定としております。業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、平成23年10月27日の第2四半期決算短信にて発表いたしました通期の連結業績予想との差異は、以下の通りです。

予想値の修正につきましては、本日公表の「特別損失計上、繰延税金資産取崩し及び業績予想修正に関するお知らせ」をご参照願います。

平成24年3月期 通期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	428,000	33,000	32,000	15,000	93 34
今回実績 (B)	428,000	32,000	30,500	14,500	90 23
増減額 (B－A)	—	△1,000	△1,500	△500	—
増減率 (%)	—	△3.0	△4.7	△3.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	428,977	37,434	34,319	10,012	62 30

(参考) 平成24年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	215,000	15,000	22,000	14,000	87 12
今回実績 (B)	217,000	16,000	23,000	8,000	49 78
増減額 (B－A)	2,000	1,000	1,000	△6,000	—
増減率 (%)	0.9	6.7	4.5	△42.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	215,663	15,836	22,085	5,076	31 59

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった小糸工業(株)は、平成23年8月1日に小糸工業(株)の完全子会社である小糸工業分割準備(株)を吸収分割承継会社とし、小糸工業(株)を吸収分割会社とする吸収分割を行っております。

また、平成23年8月1日に小糸工業(株)はK I ホールディングス(株)に、小糸工業分割準備(株)はコイト電工(株)に商号変更しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,618	51,099
受取手形及び売掛金	73,405	72,349
有価証券	2,064	1,042
たな卸資産	41,121	40,963
繰延税金資産	3,317	3,153
未収入金	14,209	14,634
その他	6,352	9,419
貸倒引当金	△13,040	△12,724
流動資産合計	182,048	179,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,811	28,612
機械装置及び運搬具（純額）	24,061	23,273
工具、器具及び備品（純額）	10,138	9,902
土地	13,533	13,305
建設仮勘定	2,944	5,178
有形固定資産合計	81,490	80,273
無形固定資産	1,471	1,212
投資その他の資産		
投資有価証券	60,107	53,781
長期貸付金	145	103
繰延税金資産	11,617	12,345
その他	2,095	2,007
貸倒引当金	△215	△218
投資その他の資産合計	73,749	68,018
固定資産合計	156,711	149,503
資産合計	338,760	329,443

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,303	70,585
短期借入金	20,265	18,141
未払費用	15,132	16,379
未払法人税等	6,103	639
賞与引当金	4,557	4,154
役員賞与引当金	329	238
製品保証引当金	1,400	1,400
その他	6,941	6,463
流動負債合計	124,033	118,003
固定負債		
長期借入金	5,964	4,858
退職給付引当金	28,549	29,245
役員退職慰労引当金	1,558	1,294
損害賠償引当金	9,486	8,796
環境対策引当金	234	248
その他	519	630
固定負債合計	46,311	45,074
負債合計	170,345	163,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,107	17,108
利益剰余金	117,139	121,802
自己株式	△74	△75
株主資本合計	148,443	153,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,614	△1,627
為替換算調整勘定	△3,410	△5,282
その他の包括利益累計額合計	△1,796	△6,910
少数株主持分	21,767	20,169
純資産合計	168,414	166,365
負債純資産合計	338,760	329,443

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	320,219	298,714
売上原価	266,885	255,476
売上総利益	53,333	43,238
販売費及び一般管理費	25,021	25,486
営業利益	28,312	17,751
営業外収益		
受取利息及び配当金	920	869
持分法による投資利益	2	1
その他	1,665	1,286
営業外収益合計	2,588	2,157
営業外費用		
支払利息	539	516
為替差損	823	651
航空事業安全対策費	3,803	1,018
その他	218	619
営業外費用合計	5,383	2,804
経常利益	25,517	17,103
特別利益		
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
投資有価証券評価損	2,328	1,055
たな卸資産評価損	3,104	690
たな卸資産廃棄損	—	384
固定資産除売却損	127	62
環境対策引当金繰入額	234	13
損害賠償引当金繰入額	8,213	—
貸倒引当金繰入額	300	—
その他	1	0
特別損失合計	14,308	2,206
税金等調整前四半期純利益	11,208	14,908
法人税、住民税及び事業税	7,157	4,653
法人税等調整額	2,045	1,550
法人税等合計	9,202	6,204
少数株主損益調整前四半期純利益	2,006	8,704
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,475	1,148
四半期純利益	6,482	7,555

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,475	1,148
少数株主損益調整前四半期純利益	2,006	8,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,232	△3,319
為替換算調整勘定	△3,906	△2,551
その他の包括利益合計	△8,138	△5,871
四半期包括利益	△6,132	2,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,973	2,441
少数株主に係る四半期包括利益	△159	391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,208	14,908
減価償却費	16,260	14,628
持分法による投資損益(△は益)	△2	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	87	△264
退職給付引当金の増減額(△は減少)	636	431
賞与引当金の増減額(△は減少)	△442	△165
受取利息及び受取配当金	△920	△869
支払利息	539	516
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	2,328	1,053
有形固定資産売却損益(△は益)	125	52
売上債権の増減額(△は増加)	16,280	△486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△875	△996
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,367	△4,091
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,302	3,021
未払費用の増減額(△は減少)	456	1,659
役員賞与の支給額	△322	△329
損害賠償引当金の繰入額	8,213	—
その他	2,545	△57
小計	48,447	29,010
利息及び配当金の受取額	920	869
利息の支払額	△539	△516
損害賠償金の支払額	△146	△690
法人税等の支払額	△6,409	△10,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,272	18,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△37,192	△24,915
定期預金の払戻による収入	12,888	27,271
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,240	△1,375
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	2,343	1,636
有形固定資産の取得による支出	△13,532	△16,022
有形固定資産の売却による収入	85	35
貸付けによる支出	△113	△16
貸付金の回収による収入	157	64
その他	△156	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,760	△13,466

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,607	△1,075
長期借入れによる収入	1,158	583
長期借入金の返済による支出	△414	△1,370
自己株式の取得による支出	△3	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△3,068	△2,772
少数株主への配当金の支払額	△1,378	△1,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,312	△6,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△889	△677
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,689	△1,841
現金及び現金同等物の期首残高	30,189	22,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,500	21,061

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	193,545	33,790	61,476	22,272	9,134	320,219	—	320,219
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,389	33	1,929	2,205	8,616	89,174	(89,174)	—
計	269,934	33,823	63,405	24,477	17,750	409,393	(89,174)	320,219
セグメント利益又は損失(△)	19,206	2,765	6,134	2,858	△1,517	29,448	(1,135)	28,312

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△1,135百万円には、セグメント間取引消去1,220百万円及び配賦不能営業費用△2,356百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	174,211	27,695	63,636	22,643	10,528	298,714	—	298,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,148	6	1,708	2,514	9,655	88,034	(88,034)	—
計	248,360	27,702	65,345	25,157	20,183	386,749	(88,034)	298,714
セグメント利益又は損失(△)	14,261	△429	4,594	1,810	△1,268	18,969	(1,217)	17,751

(注) 1. セグメント利益または損失(営業利益)の調整額△1,217百万円には、セグメント間取引消去1,406百万円及び配賦不能営業費用△2,624百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。